

愛媛県の地震

2026 年 9 月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況	1
3. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震	2
4. 愛媛県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	2
5. 地震一口メモ	
緊急地震速報の訓練（令和 8 年 11 月 5 日）について	3

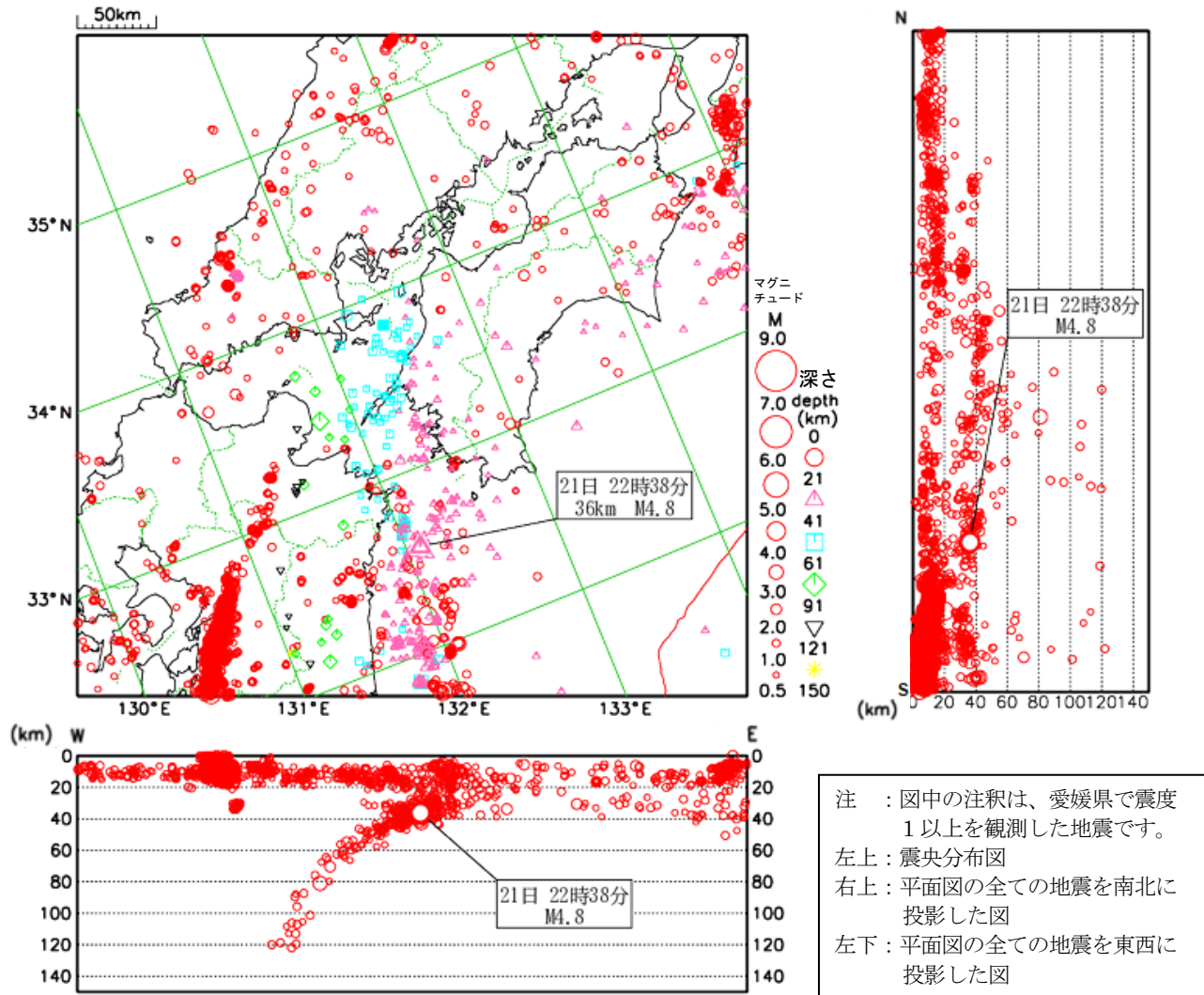
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2026年9月1日～9月30日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。

また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

2. 地震概況

2026年9月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は263回（先月は790回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は1回（先月は3回）でした。

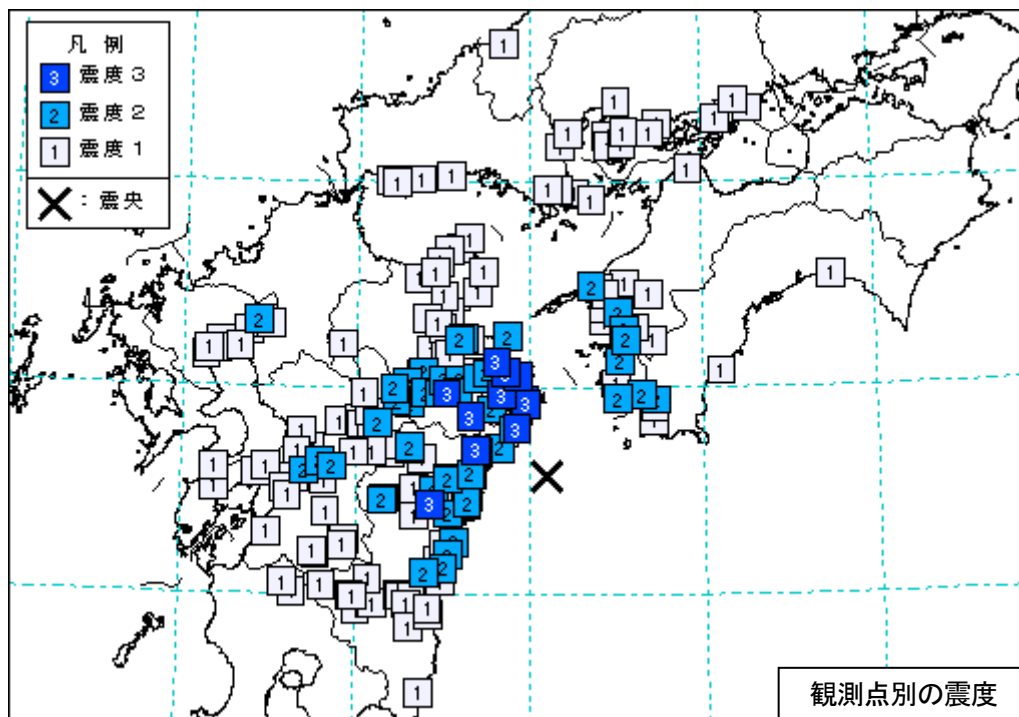
21日22時38分日向灘の地震（深さ36km、M4.8）により、愛媛県宇和島市・伊方町・西予市・愛南町で震度2を観測しました。そのほか、大分県、宮崎県で震度3を観測し、中国・四国・九州地方で震度2～1を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2026 年						
09 月 21 日 22 時 38 分	日向灘	32° 34.4' N	132° 05.6' E	36km	M4.8	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2：宇和島市住吉町,宇和島市津島町*,宇和島市吉田町*,伊方町湊浦*,西予市宇和町*, 愛南町船越*,愛南町一本松*					
	震度 1：今治市大西町*,宇和島市三間町*,八幡浜市五反田*,八幡浜市保内町*, 大洲市肱川町*,大洲市大洲*,松野町松丸*,西予市三瓶町*,西予市明浜町*, 愛南町柏*,愛南町御荘*,愛南町城辺*					

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図



9 月 21 日 22 時 38 分 日向灘

5. 地震一口メモ

緊急地震速報の訓練（令和8年11月5日）について

気象庁では、「津波防災の日」・「世界津波の日」である11月5日に、緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

（1）訓練実施日時

令和8年11月5日（木）10時00分頃（気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻）

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急遽中止する場合があります。中止を決定した場合には、参加機関に向け、速やかに気象庁ホームページ等で周知を行います。

（2）参加機関等

国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等、個人

（3）訓練の内容等

訓練参加者は、訓練用の緊急地震速報を見聞きした際に、速やかに安全な場所へ移動するなど、それぞれの場面に応じた身の安全を確保する行動を実施します。

訓練用の緊急地震速報の配信について

気象庁から国の機関や地方公共団体（全国瞬時警報システム「Jアラート」経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

この訓練では、全国的に受信端末を起動させる必要があることから、震源要素が異なる複数の訓練用の緊急地震速報を短時間（十数秒程度内）に連続して配信する計画です。

なお、テレビ、ラジオ（一部のコミュニティFM等は除く）の放送や、携帯電話、スマートフォンの緊急速報メールでは、訓練用の緊急地震速報は流れません。

気象庁が配信する訓練用の緊急地震速報の受信については概ね以下のとおりです。

● 携帯電話、スマートフォン（自治体の防災メールや災害情報を配信するアプリ等）

登録した自治体や使用しているアプリケーションによっては、訓練であることを明記した緊急地震速報が流れる場合があります。

● 受信端末

端末の設定や情報を配信する事業者によって異なります。

緊急地震速報訓練動画について

気象庁では、緊急地震速報をスマートフォンで受信する場面を想定した動画をホームページに掲載しています。緊急地震速報の報知に合わせて訓練を行いたい場合にぜひご利用ください。



参考：気象庁ホームページ「令和8年11月5日に緊急地震速報の訓練を行います」

https://www.jma.go.jp/jma/press/2610/09a/20261009_eewkunren.html

気象庁ホームページ「緊急地震速報を活用した訓練について」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kunren.html>

気象庁ホームページ「緊急地震速報訓練動画」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kit1.html>